

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【 社会福祉法人愛成会 】 事業所名 【 共同生活援助事業所白ゆり 】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし		31		11
床下浸水	0.5m 以下			
床上浸水	1.0m			
木造家屋の半数が全壊	2.0m			
木造家屋の殆どが全壊	3.0m			2
2階建ての建物が水没	5.0m 以上			
3階建ての水没	10m以上			
合計		31	0	13

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害 ※7 箇所のGH住居について下記に記載

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

① 施設建屋の損壊（極めて高い・高い・中・低い）

GH住居の浸水…全入居浸水被害なし。

GH住居の建物被害…全住居倒壊の恐れは少ないが、ガラス飛散等による被害は想定される。

② 進入道路等の損壊（極めて高い・高い・中・低い）

被害想定…GH住居周辺の道路等の損壊は想定されず、孤立の心配なし。

3. 準備状況（法人内の入所施設にて避難生活することを想定している為、備蓄品等の準備は入居者総数 31 名×3 日程度の食料と水を確保している。）

① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）有・無

電 気	懐中電灯入居人数分
燃料	なし
ガス	有
飲料水	20×96 本（31 名分）※各住居の入居人数×3 日程度を想定して各住居に備蓄
生活用水	なし

② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他） 有 ・ 無

主食	アルファ米 280 食（31 名分）	※各住居の入居人数×1日3食 ×3日程度を想定して各住居 に備蓄
副食	カロリーメイトロングライフ 120 箱（31 名分）	
特別食	無	
定期薬	1ヶ月程度	
医薬品	市販の風邪薬や絆創膏等の医薬品のみ	

③ トイレの準備状況 有 ・ 無

④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他） 有 ・ 無
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	無
MCA 無線	無
無線機	無
安否確認システム	無
その他	171 災害伝言ダイヤル

⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む） 有 ・ 無
法人内の共有データ、紙資料

⑥ BCP 策定の有無（利用者の安否確認含む） 有 ・ 無

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）
特になし

残念だった備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

エネルギー補給を目的としてカロリーメイトを備蓄したが、保存期間が3年と短い上に単価が高い。また、被災時には水分を十分に取れないことを考えるとパサついており口内も非常に乾燥するので適していないように感じた。

4. 避難場所

一時避難場所として住居毎に屋外待機場所を指定し、職員が安否確認に急行した後、法人内の入所施設に避難することを想定している。被災時の職員数が限られた中で安全に避難誘導を出来る有効な手段を検討中。

5. 福祉避難所の指定

・受けている 受けていない

以上